



安全データシート

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

JIS Z 7253 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠

1: 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名	MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent
製品番号	MCC-HDSL, MCC-HDSG, MCC-HDSP, MCC-HDSD, MCC-HDSGL, MCC-HDSGG
別名、商品名	MCC-HDSL (2.5 lb - 1 Liter); MCC-HDSG (10 lb - 1 Gallon Pail); MCC-HDSP (50 lb - 5 Gallon Pail); MCC-HDSD (500 lb - 55 Gallon Drum)

化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 洗浄剤。

安全データシートの供給者の詳細

供給者	MICROCARE ASIA PTE LTD 102E Pasir Panjang Road Singapore 118529 Phone (65)6271.0182
製造者	MICROCARE CORPORATION 595 John Downey Drive New Britain, CT 06051 United States of America CAGE: OATV9 Tel: +1 800-638-0125, +1 860-827-0626 Fax: +1 860-827-8105 techsupport@microcare.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 CHEMTREC +1 703-741-5970 (from anywhere in the world)

2: 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性	区分外
健康有害性	区分外
環境有害性	水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412
健康有害性	長期にわたりまたは反復して皮膚に接触すると刺激、発赤および皮膚炎を引き起こすおそれがある。軽度の皮膚炎、アレルギー性皮膚発疹。
環境有害性	製品は水生生物に対して有害かつ水生環境中で長期継続的悪影響を引き起こすおそれのある物質を含む。
物理化学的危険性	蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。ガスまたは蒸気は呼吸に必要な酸素に置き換わる(窒息剤)。

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

ラベル要素

危険有害性情報

H412 長期継続の影響によって水生生物に有害。

注意書き

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P331 無理に吐かせないこと。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。
 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断 / 手当てを受けること。

補足的なラベル情報

EUH210 請求すれば安全データシートを入手可能である。
 RCH001a 産業施設内での使用専用。

他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

3：組成及び成分情報

混合物

トランス-1,2-ジクロロエチレン (trans-1,2-DICHLOROETHYLENE) CAS番号: 156-60-5	30-60%
分類 引火性液体 区分2 - H225 急性毒性 区分4 - H332 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412	
1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane) CAS番号: 138495-42-8	30-60%
分類 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412	
1,1,1,3,3-ペンタフルオロブタン (1,1,1,3,3-PENTAFLUOROBUTANE) CAS番号: 406-58-6	10-30%
分類 引火性液体 区分2 - H225	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

組成に関する注釈

組成物の正確な割合（濃度）は、CFR 1900.1200の段落 (i) に従って営業秘密として保留されている

Composition

4：応急措置

応急措置の説明

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

一般情報	被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。意識を喪失した者は横向きの回復体位に寝かせ、呼吸ができることを確認する。呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこと。医師に具体的な診断を求めること。
吸入	被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な場合には適切な訓練を受けた人員が酸素投与を行って被災者を補助してもよい。医師の手当てを受けること。
経口摂取	被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。意識のない者は横向きの回復体位に寝かせて呼吸していることを確認すること。直ちに医師の手当てを受けること。
皮膚接触	皮膚を石鹸と水で十分に洗うこと。汚染された衣類を取り除き、皮膚を水で十分に洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し眼を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。換気が不十分な区域における製品の広範囲な使用は危険有害性蒸気を蓄積する原因になるおそれがある。不快感を引き起こすおそれがある。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：頭痛。めまい。吐き気、嘔吐。
吸入	喘息に似た息切れを引き起こすおそれがある。蒸気は、頭痛、疲労、めまいおよび吐き気を引き起こすおそれがある。不整脈（正常な心拍からの逸脱）。
経口摂取	肺水腫、泡状の痰。
皮膚接触	皮膚刺激。長期にわたりまたは反復して皮膚に接触すると刺激、発赤および皮膚炎を引き起こすおそれがある。
眼接触	一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。眼を刺激する。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：発赤。痛み。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

5：火災時の措置

消火剤

適切な消火剤	製品は可燃性/引火性でない。周辺火災に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	水スプレー。漏洩物に対し、水は決して単独で使用してはならない；漏洩を広げ、さらに汚染を起こすことになる。

化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性	熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。過剰圧力蓄積のため、密閉容器は加熱されると激しく破裂することがある。
有害燃焼副産物	炭素酸化物。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。火災は以下を生成する：カルボニル化合物。塩化物。

消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置	火災に近い容器は移動するか水で冷却しなければならない。
消火を行う者を保護するための特別な保護具	陽圧自給式呼吸器（SCBA）および適切な保護衣を着用すること。

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 潜在的危険有害性について全員に警告し、必要に応じ避難させる。適切に換気すること。蒸気の吸入を避けること。空気汚染が許容レベルを越える場合には承認を受けた呼吸マスクを使用すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。この安全データシートに記載されている安全取扱いに関する注意事項に従うこと。個人保護具については、項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 砂、土またはその他の適切な不燃材料で流出を封じ込めること。環境への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。砂、土またはその他の不燃材料で流出物を封じ込めて吸収させること。可能なら、流出物をシャベルとほうき、または同様の用具で回収して再利用すること。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。手袋は次の材料で作られていることが推奨される: ネオプレン。

他の項目の参照

他の項目の参照 個人保護具については、項目8を参照。健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。廃棄物処理に関してはポイント13を参照。

7: 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 適切に換気すること。蒸気/スプレーの吸入と皮膚および眼との接触を避けること。

混蝕禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。

保管クラス

特定されていない物質の保管。製品は可燃性/引火性でない。

特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

Reference to other sections. 混蝕危険物質 (項目10を参照) から遠ざけて保管すること。

8: ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

職業ばく露限界値

1,1,1,3,3-ペンタフルオロブタン (1,1,1,3,3-PENTAFLUOROBUTANE)

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 1000 ppm

Additional Occupational Exposure Limits

成分に関する注釈

WEL = Workplace Exposure Limits Threshold Limit Values (2005), ACGIH, by the American Conference on Governmental Industrial Hygienists. SUP = Supplier's recommendation.

ばく露防止

保護具



MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

適切な設備対策	特定の換気装置は必要でない。この製品は適切な換気のない密閉空間内では決して取り扱ってはならない。
眼 / 顔面の保護	リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。リスク評価によりより高度な保護の必要性が指摘された場合を除き、以下の保護具を着用しなければならない：顔面に密着する安全眼鏡。リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面。
手の保護	リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手袋は次の材料で作られていることが推奨される：ニトリルゴム。ポリビニルアルコール (PVA)。ビトンゴム (フッ素ゴム)。
その他の皮膚及び身体の保護	飛沫または汚染に対する保護に適した保護衣を着用すること。接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。
衛生措置	噴霧ミストの吸入、ならびに皮膚及び目への接触を避ける。取扱中は飲食禁止および禁煙。各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。
呼吸器の保護	蒸気は空気より重いので、床に沿って移動し容器の底に蓄積するおそれがある。密閉空間内または換気が悪い空間内では、必ず送気式呼吸マスクを着用しなければならない。フルフェイスマスクを備えた自給式呼吸装置を着用すること。
熱的危険性	熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。

9：物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	透明な液体。
色	無色。
臭い	かすかな臭い。エーテル。
臭いの閾値	情報得られず。
pH	情報得られず。
融点	情報得られず。
初留点及び沸騰範囲	37°C/99°F @ 101.3 kPa
引火点	製品は可燃性/引火性でない。
蒸発速度	0.87 (Butyl Acetate =1)
蒸発係数	情報得られず。
燃焼性 (固体、気体)	該当しない。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	燃焼/爆発上限界: 9.0 %(V) 燃焼/爆発下限界: 7.5 %(V)
その他の燃焼性	製品は可燃性/引火性でない。
蒸気圧	65 kPa @ 25°C
蒸気密度	4.0
相対密度	1.37
バルク密度	該当しない。

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

溶解度	水にわずかに溶解性。
分配係数	情報得られず。
自己発火温度	情報得られず。
分解温度	情報得られず。
粘度	情報得られず。
爆発特性	情報得られず。
その他の情報	
屈折率	情報得られず。
粒径	情報得られず。
分子量	情報得られず。
揮発性	100%
飽和濃度	情報得られず。
臨界温度	情報得られず。
揮発性有機化合物	この製品は最大含有量590g/lのVOCを含んでいる。
UDF Phrase 1	製品は可燃性/引火性でない。

10: 安定性及び反応性

安定性及び反応性

反応性 次の物質は製品と反応するおそれがある：強アルカリ。

化学的安定性

安定性 標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。

危険有害性反応危険性

危険有害性反応危険性 重合しない。

避けるべき条件

避けるべき条件 熱、火花および裸火から遠ざけること。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。

混触危険物質

混触危険物質 アルカリ金属。アルカリ土類金属。粉末金属。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物 加熱すると次の生成物を生じるおそれがある：毒性および腐食性のガスまたは蒸気。ハロゲン化炭化水素。フッ化水素 (HF)。二酸化炭素 (CO₂)。一酸化炭素 (CO)。

11: 有害性情報

有害性情報

急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l) 22.0

吸入 蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：咳。呼吸困難。

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

経口摂取	胃痛または嘔吐を引き起こすおそれがある。吐き気、頭痛、めまいおよび中毒を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	製品は皮膚に脱脂影響を及ぼす。アレルギー性接触湿疹を引き起こすおそれがある。
眼接触	一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。
医学的症状	高濃度のガスまたは蒸気は呼吸器系を刺激するおそれがある。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：頭痛。疲労。吐き気、嘔吐。

成分に関する毒物学的情報

トランス-1,2-ジクロロエチレン (trans-1,2-DICHLOROETHYLENE)

その他の健康影響 製品が発がん性である可能性を示す証拠はない。

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

急性毒性 - 経口

急性経口毒性 (LD₅₀
mg/kg) 5,000.0

生物種 ラット

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 5,000.0

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性 (LD₅₀
mg/kg) 5,000.0

生物種 ラット

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 5,000.0

急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性 (LC₅₀蒸気
mg/l) 114.0

生物種 ラット

急性吸入毒性推定値
(ATE) (蒸気mg/l) 114.0

皮膚腐食性 / 刺激性

動物データ 刺激性でない。ウサギ

ヒト皮膚モデル試験 データの欠如。

極端なpH 該当しない。皮膚を腐食しない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 刺激性でない。ウサギ

呼吸器感作性

呼吸器感作性 データの欠如。

皮膚感作性

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

皮膚感作性	感作性でない。 - モルモット: 感作性でない。
<u>生殖細胞変異原性</u>	
遺伝毒性 - in vitro	この物質の変異原性を示す証拠はない。
遺伝毒性 - in vivo	この物質の変異原性を示す証拠はない。
<u>発がん性</u>	
発がん性	公知の発がん物質を一切含まない。
IARC発がん性	記載されていない。
<u>生殖毒性</u>	
生殖毒性 - 生殖能	動物実験における生殖毒性の証拠はない。
皮膚接触	推奨事項に従って使用すれば皮膚刺激は生じない。皮膜の脱脂を引き起こすおそれがあるが刺激性ではない。
眼接触	眼刺激を引き起こすおそれがある。
急性及び慢性健康危険	製品が発がん性である可能性を示す証拠はない。

1,1,1,3,3-ペンタフルオロブタン (1,1,1,3,3-PENTAFLUOROBUTANE)

<u>急性毒性 - 吸入</u>	
急性吸入毒性 (LC ₅₀ 蒸気 mg/l)	100,000.0
急性吸入毒性推定値 (ATE) (蒸気mg/l)	100,000.0
<u>特定標的臓器毒性 - 単回ばく露</u>	
特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露	最小毒性量 (LOAEL) 75100 ppm, 吸入,
<u>特定標的臓器毒性 - 反復ばく露</u>	
特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露	無影響濃度 (NOAEC) 6 mg/l, 吸入, ラット
標的臓器	肝臓 腎臓

12: 環境影響情報

生態毒性 製品は水生生物に毒性で長期継続的影響により水生生物に悪影響を生じるおそれのある物質を含んでいる。

成分に関する生態学的情報

トランス-1,2-ジクロロエチレン (trans-1,2-DICHLOROETHYLENE)

生態毒性 水生生物に対する急性毒性は低い。

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

生態毒性 物質が水中で魚やミミズに有害な影響を及ぼすほどの大きさを溶解することは考えにくい。

毒性

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

毒性 データなし。

成分に関する生態学的情報

トランス-1,2-ジクロロエチレン (trans-1,2-DICHLOROETHYLENE)

急性水生毒性

急性毒性 - 魚類 LC₅₀, 96 hours: 1350 mg/l, 魚類

急性毒性 - 水生無脊椎動物 EC₅₀, 48 hours: 220 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

急性水生毒性

急性毒性 - 魚類 LC₅₀, 96 hours: 13.9 mg/l, Oncorhynchus mykiss (ニジマス)

急性毒性 - 水生無脊椎動物 LC₅₀, 48 時間: 11.7 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

急性毒性 - 水生植物 EC₅₀, 72 hours: >120 mg/l, 藻類

残留性・分解性

残留性・分解性 製品は易生物分解性でない。

生体蓄積性

生体蓄積性 この製品の溶解性は低いため生体蓄積性が重大である可能性は低い。

分配係数 情報得られず。

成分に関する生態学的情報

トランス-1,2-ジクロロエチレン (trans-1,2-DICHLOROETHYLENE)

生体蓄積性 この製品の溶解性は低いため生体蓄積性が重大である可能性は低い。

1,1,1,2,2,3,4,5,5,5デカフルオロペンタン (1,1,1,2,2,3,4,5,5,5-decafluoropentane)

生体蓄積性 この製品の溶解性は低いため生体蓄積性が重大である可能性は低い。

分配係数 Pow: 2.7

土壌中の移動性

移動性 製品の溶解性は低い。

成分に関する生態学的情報

トランス-1,2-ジクロロエチレン (trans-1,2-DICHLOROETHYLENE)

移動性 製品の溶解性は低い。

他の有害影響

他の有害影響 製品は世界的温暖化 (温室効果) に関与する物質を含む。

13: 廃棄上の注意

廃棄上の注意

一般情報

回収/再生利用に関する情報は製造業者供給業者に問い合わせる。廃棄物は規制された廃棄物として取り扱わなければならない。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

MicroCare HDS Heavy Duty Degreasing Solvent

廃棄方法 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。可能ならば製品を再使用または再利用すること。

14: 輸送上の注意

一般事項 規制されていない。製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。

品名 (国連輸送名)

該当しない。情報は要求されていない。

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

該当しない。情報は要求されていない。

輸送ラベル

輸送警告標識は要求されない。

容器等級

該当しない。情報は要求されていない。

使用者のための特別予防措置

該当しない。情報は要求されていない。

MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送 該当しない。情報は要求されていない。

15: 適用法令

16: その他の情報

改訂に関する注釈 備考: 余白中の線は以前の版からの重大な変更を示している。

改訂日 2018/05/07

改訂版 29

更新日 2018/01/16

SDS番号 BULK - HDS

SDSの現状 承認済み。

危険有害性情報の全文 H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H332 吸入すると有害。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。